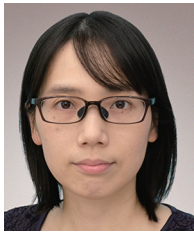


# 子連れ在外派遣 in 台湾



## 相見順子

物質・材料研究機構  
[305-0047] つくば市千現1-2-1  
主任研究員, 博士(工学).  
専門は高分子化学, 超分子化学.  
AIMLJunko@nims.go.jp  
[https://samurai.nims.go.jp/profiles/aimi\\_](https://samurai.nims.go.jp/profiles/aimi_)

junko?locale=ja

学位を取得して今年で10年目。振り返れば、研究所への就職、国際別居婚、出産・育児、在外派遣など、所々変わったライフイベントを経験しました。その中から、得るものが多かった台湾への在外派遣について本稿でご紹介します。派遣員の立場から感じた主観と偏見が入ることをお許しください。

### 台湾での研究生活

筆者の所属する物質・材料研究機構(NIMS)は、国立台湾大学との間に国際学術連携センター(通称SMARTセンター)を設置し、幅広い共同研究を進めています。このセンターでの共同研究が縁で、2014年末から台湾に2年間滞在しました。滞在中は、台北にある台湾大と台中にある国立中興大学の間を行き来しながら実験を行いました。久しぶりの大学キャンパス、それも美しい椰子の木並木の中を、学生時代に戻ったような気分で通いました。共同研究の目的は、NIMSで作った高分子材料のデバイス応用です。専門外である有機デバイス作りを学生に一から教わりました。サンプルを送るだけでは得られない新しい知識と技術を習得でき、研究の幅が一気に広がりました。

台湾は九州とほぼ同じ大きさで西側を新幹線が縦断しており移動が楽です。この機に北から南まで10カ所ほど研究機関を訪れました。滞在2年目には、高雄にある国立中山大学にて、日台の若手研究者を招いたJSPS二国間交流セミナーを主催する機会にも恵まれました。こうした訪問やセミナーで同世代の研究者と出会って感じたことは、彼らの個人としての国際競争力の高さです。台湾の教員の多くは欧米で学位を取得しており、大学のシステムも米国式です。助教の段階で独立した研究室を運営し、学生の給与を稼ぎつつ期限までに昇進する必要があり、相当なプレッシャーがかかるようです。高分子分野が入る工学部では応用研究が必須でスピード感があります。反面、時間をかけた基礎的な研究はなかなかできないのが残念、という話も聞きました。すべてを一人で切り盛りして忙しそうな一方で、夏休みなどの授業がない期間は海外に研究滞在することも多いとのこと。アクティブさに刺激を受けました。明るく逞しいアジアのリーダー達との出会いが、今回の派遣の最大の収穫です。

語学留学先にアジアを選ぶ学生が年々増えているそうです。実際行ってみて、研究留学にこそ良いと感じました。語学力や研究レベルの高さに加え、出張への身体的・金銭的負担が小さいので、継続的な人材交流や共同研究に有利だからです。ここ数年、台湾からのインターンシップ生をNIMSに受け入れています。研究所には学生がいないので、彼らは重要な戦力です。

### 在外派遣のきっかけと現地での生活

長期子連れ派遣でも充実した研究生生活を送れた種明かしをしますと、それは、現地に夫がいたからです。そもそも在外派遣を志願したのは、第一子の育休復帰後1年ほど経った頃でした。職場の理解と母の助けに支えられながらも、慣れない育児と慢性的な体調不良に加え、研究も思うように進まずに悩んでいた時期です。そんな折、連携センターへの在外派遣の話が出ました。結果が出つつあった台湾大との共同研究の発展(仕事)と家族の同居(私事)が一度に達成される、このチャンスに飛び付きました。それでも準備に関しては、単身留学とは比較にならないほど大変だったので、短期で海外なら身軽に越したことはない気もします。落ち着いてしまえば、台湾は治安が良く、外食は安くて美味しいし、教育や医療水準も高く住みやすい所でした(車の運転と言葉の壁には苦戦しましたが)。人々の寛容さにも随分救われました。電車やレストランで肩身の狭い思いを一度もすることもなく、子供を連れてどこにでも行くことができ、子育ては気楽でした。学会の懇親会で子供が駆け回る光景も見られるほどです。娘もよく参加しました。

### サバティカルのおすすめ

最近、第二子の産休・育休を取得しました。前回の苦い記憶から、自分の能力を悟った2度目は開き直って丸1年休業しました。結果的には、論文作業も捗り、新しいテーマを考えるなど、有意義な時間をもてました。海外派遣や長期休業などサバティカルのような時間は、一時的に業績は出ないし研究は滞りますが、将来的には人生にプラスに働くと思います。このような貴重な機会を与えてくださった方々に心より感謝し、今後もいろいろなことに挑戦したいと思います。